



編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

高橋 ちづ子
紙 いわぶち友
国会議員連絡所
鶴岡市美原町16-5
☎ 22-3313
FAX24-4096

無料生活相談所
関者町11-26
24-2414
加藤 鋳一
宝徳 仲田56
64-3941
菅井 巖
中 楠 9 6
33-0534

坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993
山田 守
宝田1-9-1-31
23-6548
長谷川 剛
日枝坂本43-10
24-1677

「人材流入」図る「一貫校に疑問」

市教委主催「中高一貫教育シンポジウム」

多くの質問で時間大幅超過

主催による「中高一貫教育シンポジウム」が

鶴岡市教育委員会の

9日、市中央公民館で開かれました。



県教育委員会の県立高校再編整備計画案では、平成36（2024）年度までに鶴岡南高と鶴岡北高を統合して県立中学校を併設した「庄内中高一貫校」（仮称）を新設する計画です。

シンポジウムでは、県立高校改革推進室の須貝英彦室長と、平成28年度に東根市に開校した県立中高一貫校「東桜学館」の官宏校長がパネラーとして報告しました。参加者から多くの質問が出され、終了予定の20時30分を大幅に超過して21時30分まで質疑が交わされました。「受験エリート校化避ける」国会決議どう考える

出席者から出された質問の一つを紹介しましょう。

「平成26年3月議会一般質問で、当時の佐藤聡議員が中高一貫校の位置づけとカリキュラム、どのような人材を輩出するのかを質問した。当時の教育長・難波信昭氏が、本市には慶應先端研に端を発するベンチャー企業等の誘致も進められており、さまざまな研究機関や企業が誘致されることは、多くの研究者やその家族が鶴岡で生活することになる。すぐれた人材の流入や定着、そして交流のためにも、教育環境が整備されることは必要なこと。」

水道管破裂に料金減免

共産党市議団、市の対応聞き取り

日本共産党市議団は9日、市上下水道部を訪ね、1月下旬から市の凍結、破裂の状況や市の対応などを聞きま

内各所で相次ぐ水道管の凍結、破裂の状況や市の対応などを聞きま

した。8日現在、凍結889件、凍結破裂が983件（水道業者対応報告）に上りました。対応した榎本貢水道課長は、「1月24日〜26日の3日間は、日中

も水点下の真冬だったため水道管が凍結、その後は気温が緩み破裂漏水が増えた。現在、水道業者さんに日報を依頼、7〜8割が対応済みとなっているが、修理資材の調達が間に合わず遅れている状況もある。今後、低温が予想される場合は、防災無線、広報車、ケーブルテレビ、消防団にも協力を依頼し注意喚起をしていきたい」と話しました。

また、「水道管の破裂等による水道料金の減免制度も周知していく」と話しました。党市議団では、引き続き豪雪被害の状況や除排雪の要望などを市に届けていきます。

水道管の破裂等による水道料金の減免について

（市ホームページより）

◎減免申請の流れ

(1)漏水が発生したら、指定工事店に修理を依頼してください

・修理依頼は、お客さまご自身でお願いします

(2)修理が完了したら、指定工事店に減免申請を依頼してください

・減免申請には、お客さまの署名・捺印が必要です

・減免申請書は、指定工事店が上下水道部に提出します

(3)上下水道部では申請内容を審査し、結果をお客さまにお知らせします

◎減免の基準

毎月の平均水量を超えた分の水量（推定漏水量）の2分の1が減免されます。

ただし、以下の場合は減免されません。

- ・指定工事店以外で修理した場合
- ・推定漏水量が5立方メートル以下の場合
- ・受水槽以降の漏水の場合

●お問合せ

鶴岡市役所 上下水道部

電話：0235-23-7731 FAX：0235-22-9690

尾形圭一郎学校教育課長は「私たちは、慶應先端研やベンチャー企業を中高一貫教育校の目的としては考えていない。」

（2面につづく）

6月の庄内町議選での勝利を

工藤のり子庄内町議「新春のつどい」開催



町議選への決意を述べる工藤町議

訴えを調査し取り上げてきた自分を、議会は逆に問責決議で辞職勧告を行った。誰が町民の立場に立つ議員かが問われた」と語り、6月の町議会議員選挙で頑張ると決意を述べ

ました。

庄内町の工藤範子町議「新春のつどい」が10日、南口公民館で開かれました。

元議長「入札不正見過ごせない。工藤町議を応援する」

工藤範子町議は、町長の入札疑惑を質した経過に触れ、「業者の

奥山元議長が、「入

札不正は見過ごすことができない。議会の姿勢も問題で、工藤町議を強く応援する」などと挨拶しました。

日本共産党鶴岡地区委員会を代表して加藤鉦一市議団長が挨拶し、「議員は住民の代弁者であり、工藤町議は皆さんの要望をすぐに届け解決を図ってき

ました。かけがえのない議員だ」と述べ、日本共産党への支援をお願い

(1面のつづき)
鶴岡には魅力的な自然や歴史、文化、食、遺産があり、これらの魅力を発信し、多くの人に鶴岡市を選んで頂く魅力の一つとして、中高一貫という新しい

学校がある。」と答えました。
教育の本源的使命である「人格の完成」(教育基本法)ではなく、人材の流入を図る理由からの中高一貫教育校に疑問は尽きません。

正面広場・周辺道路整備に意見

鶴岡公園環境整備懇談会

第2回鶴岡公園環境整備懇談会が7日開かれ、公園の活用や全体の整備計画などについて協議されました。

鶴岡公園正面広場(市役所側)整備について委員から、ベンチ

など休憩できる場所や小さい子どもが遊べる遊具の設置を求める意見が出されました。

公園周辺道路整備について、歩車道の境界がなく直線的な道路線形のため、自動車の通過速度が速く危険であることなど現状の課題が出され、自動車の速度抑制を促すことや歩行者の安全な交通空間を確保することなどの整備計画について協議されました。

市当局からは、現在自動車が出し合っている鶴岡工業高校付近のコーナー部を拡幅する計画であることが出されました。

長谷川剛市議が傍聴しました。

旧大網小の活用など意見交換

朝日・大網地区で日本共産党新春のつどい開催



今後解体が計画されている旧大網小

朝日地域の旧大網地区で日本共産党主催の新春のつどいが9日、上村公民館で開催されました。

加藤鉦一市議団長が出席し、旧大網小学校の

活用方策など「小さな拠点」づくりの市の取り組みを話し、意見を語り合いました。

市では平成30年度に大網小学校の校舎棟を解体し、平屋でコンパクトな施設を新築し、地域交流センターの機能を持たせる計画です。

ソフト計画では29年度に地域内交通部会と

三川と鶴岡の対等な関係を期待

三川町で党新春のつどい開催

日本共産党三川町「新春のつどい」が押切上町公民館で開かれました。

三川町の阿部誠町長が挨拶し、「子どもの出生数は維持できているが、若者の地元定着に力を入れていきたい。新たな子育て支援施設の整備に取り組む。」と今年の抱負を

語りました。

党鶴岡地区委員会を代表して加藤鉦一市議団長が挨拶し、「鶴岡市は市民との対話を掲げる皆川市長が誕生した。対話は対等な関係でこそ成立する。三川町とも対等な関係の対話の構築が期待される。党市議団は住民が主人公の政治をまっすぐに実現していく」と述べました。

2017年は運動の画期に

田川原水協が定期総会開催

2017年原水爆禁止鶴岡田川地区協議会定期総会が7日開催されました。

今年度は7月に国連で「核兵器禁止条約」が国連で採択され、12月には核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)がノーベル平和賞

を受賞するなど、平和運動の画期となる年となりました。

活動報告では、3・1ピギニデーの取り組みとして第五福竜丸展示館学芸員の安田氏を招き、アメリカによるピギニ環境での水爆実験による遠洋漁業船へ

の深刻な放射能被害についての学習、映画「放射能を浴びたX年後2」の上映活動が目標を上回る鑑賞者があったことなどが報告されました。

新年度の代表委員には柳原敦氏、事務局には成田龍雄氏(医療生協労組)らが選出されました。